

令和5年度シラバス（1年生用）

教科	国語科		科目	言語文化	単位数	2
学年	1 年生	コース	共通			
使用教科書	高等学校 言語文化（数研出版）					
副教材等	体系古典文法（数研出版） 古文単語 301（尚文出版）					

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させる、言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他社や社会に関わる態度を身に付けようとしている。
	定期考査の配点基準（目安） 55%	定期考査の配点基準（目安） 45%	

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1学期	言語文化と古文 古典の世界を楽しむ	・歴史的仮名遣いなどの基本知識をおさえる。 ・現代語と意味の異なる語を中心に重要古語をまとめる。 ・登場人物の心の動きや動作主を追いながら展開を整理する。	中間考査
	言語文化と漢文	・用言の活用を理解する。 ・返り点と送り仮名の決まりを理解する。	
	古文の世界を楽しむ 言語文化と近代史 読み継がれる歴史	・古文独特の風習について学習する。 ・助動詞の働きを理解する。 ・小説と評論の違いを考える。 ・春秋時代について、歴史的背景を確認する。 ・本文最後の言葉に込められた心情を考える。	期末考査

2学期	和歌による心の交流 漢詩のことば 記録する文学	・和歌の叙情性を際立させている「歌物語」を味わい、理解する。 ・漢詩の近体詩の形式を理解する。 ・近現代に書かれた戦争小説と軍記物語の違いを理解する。	中間考査
	平安宮廷文学の世界 論語とその解釈 仮名日記文学の原点	・登場人物のやり取りを読み取り、周りの人たちがどのように評価をしたのか読み取る。 ・生き方・人との関わり方に対する孔子の考えをまとめる。 ・日記文学について調べ、「土佐日記」についてまとめる。	期末考査
3学期	読み継がれる漢文 戦乱化の人間像 論説の文章 先陣を思う旅	・作者や作品の時代背景を理解する。 ・文章の内容と特徴を理解する。 ・韓愈の文学的な活動について理解する。 ・句法を理解する。 ・句と文章が一体になった俳諧紀行文を味わい、理解する。	学年末考査
各学期の観点別学習状況の評価の方法 知識・技能＝定期考査およびワークプリント 思考・判断・表現＝定期考査および発表、グループ活動、レポート作成 主体的に学習に取り組む態度＝ノート、レポートの内容、授業時の発表・活動 学年末の評価 各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			